

The 36th Kurashiki Orchestra

倉敷管弦楽団

第36回定期演奏会

日時

2010. **6.27** [SUN] 14時30分開演
(14時開場)

場所

倉敷市民会館 ホール

入場料

一般: **1,500**円 (前売1,300円)
学生: **1,200**円 (前売1,000円)



指揮: 角田 鋼亮



ピアノ: 松本 和将

Program

R. ワーグナー 歌劇 *さまよえるオランダ人* 序曲
S. ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調
J. ブラームス 交響曲第1番 ハ短調



プレイガイドおよび前売券取扱所

岡山

岡山シンフォニーホール総合案内所、
ヤマハミュージック岡山店、
ざんざや

倉敷

倉敷市文化振興財団チケットセンター(倉敷市文化交流会館内)、
ヤマハミュージック倉敷店、
インディスク

玉島

くらしき作陽大学演奏係、
トクナガピアノ

託児室を準備しています。事前予約が必要です。(6月19日(土)まで)氏名・年齢・連絡先を阿曾沼(TEL&FAX 086-424-4054)までお知らせください。

主催: 倉敷管弦楽団

共催: 倉敷市文化連盟

後援: 岡山県・倉敷市・第25回国民文化祭岡山県実行委員会・RSK山陽放送・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・岡山県郷土文化財団

指揮者：角田 鋼亮(つのだこうすけ)

2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクールでも2位入賞を果たした。1980年、愛知県名古屋生まれ。1999年、東京藝術大学音楽学部指揮科に入学。指揮法を松尾葉子、佐藤功太郎、ピアノを佐藤俊各氏に師事。2000、01、02年度野村学芸財団の奨学生となる。02年には学内で安宅賞を受賞。03年、同大学大学院に入学、04年にはクルト・マズア氏によるマスタークラスの受講生に選ばれ指導を受けた。2005年4月から渡独し、9月からはベルリン音楽大学「ハンス・アイスラー」にて学ぶ。指揮をクリスティアン・エーヴァルト、コレベティツァをアレキサンダー・ヴィトリン、ピアノをスザンネ・グリユツマン各氏に師事。2007年2月に開催されたワークショップ「INTERAKTION2007」ではベルリン・フィルやシュターツカペレ・ベルリンなどメンバーを中心とする特別編成オーケストラを指揮し、高度な音楽性と確かな指揮技術を賞賛された。08年3月に一度東京芸術大学修士課程を修了し、翌年3月にはベルリン音楽大学でディプロムを取得した。これまで共演したオーケストラは、コンツェルトハウスオーケストラ・ベルリン、ブランデンブルク交響楽団、ドレスデン州立劇場オーケストラ、上海歌劇院管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、ソリストはウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・キュッヒル、同オーケストラのクラリネット奏者エルンスト・オッテンザマー、ピアニストの小川典子、外山啓介、田村響、北村朋幹氏などが挙げられる。一方、オペラ、バレエ、ミュージカルの分野でも活躍。04年、TPT主催ミュージカル「ナイン」(デーヴィット・ルヴォー氏演出)では急遽指揮者を務め、その公演は紀伊國屋演劇大賞を授与され、また月刊「ミュージカル」誌において2004年度ミュージカルのベスト2にランクインした。オペラでは古典から現代物まで二十以上の作品を指揮し、とりわけ04年に手掛けたシューベルトのオペラ「四年間の哨兵勤務」「サラマンカの友人達」の日本初演は、「モーストリー・クラシック」誌において、その手腕を高く評価された。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場では公演により副指揮者を務める。新春スペシャル版「のだめカンタービレ」においては指揮指導を、映画版では合わせてピアノ吹き替えを務めた。

ピアニスト：松本 和将(まつもとかずまさ)

1979年、岡山県倉敷市に生まれる。1998年日本音楽コンクールに優勝し、併せて増沢賞はじめ全賞を受賞。2001年ブゾーニ国際ピアノコンクール(イタリア)第4位。2003年には世界三大コンクールの一つ、エリーザベト王妃国際音楽コンクール(ベルギー)で第5位入賞を果たす。各地でのソロリサイタルや室内楽をはじめ、これまでにプラハフィル、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィル、ベルギー国立オーケストラ、大阪フィル他多くのオーケストラと協演。米国、チェコ、中国、ドイツ、フランス、スウェーデン、ニュージーランドなどでの演奏会にも出演する。室内楽では2006年～2007年オーボエの宮本文昭ラストコンサートツアーに参加。チェロの趙静とのデュオも好評を博す。2006年、ベートーヴェン3大ピアノソナタで全国ツアーを行う。2008年バイオリンの渡辺玲子氏とNHK-FM「ベストオブクラシック」に出演。東京芸術大学創立120周年記念音楽祭に出演。別府アルゲリッチ音楽祭に招待され、リサイタル&マスタークラスを行う。2009年10周年記念リサイタルで、全国ツアーを行う。ピクチャーエンターテインメントより9枚のCDをリリース、各誌で絶賛される。近年はジャンルを超えて、和太鼓、箏、尺八など和楽器とのコラボレーションやジャズにも興味を広げている。2009年より東京芸術大学、くらしき作陽大学にて後進の指導にもあたる。谷口厚子、芦田田鶴子、故中島和彦、角野裕、御木本澄子、バスカル・ドヴァイヨンに師事。岡山県芸術特別顕賞、倉敷市芸術文化栄誉章、福武文化奨励賞、マルセン文化賞、エネルギア音楽賞受賞。

公式HP：<http://www.kaz-matsumoto.com>

公式ブログ：<http://www.kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>

倉敷管弦楽団

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団として活躍を続け、今年で36年目になります。

その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞しました。また平成18年には常任指揮者の菊池東氏が倉敷市文化章を受章しました。

毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏ら、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランバル氏、ヴァイオリンでは、イヴリー・ギトリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天満敦子氏、アナスタシア・チェボタリョワ氏、久保陽子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、ウラジミール・オブチニコフ氏、ルース・スレンチェンスカ氏、チェロの岩崎洗氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの前田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多く行っています。倉敷音楽祭へも毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、ヘンデル「メサイア」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、團伊玖磨「夕鶴」、ビゼー「カルメン」、モーツァルト「フィガロの結婚」その他を演奏しました。県内のオーケストラを聞く機会が少ない地域へも毎年のように出向いて演奏会を開いて来ました。

演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」、小六禮次郎氏作曲「瀬戸内賛歌」などを初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J・シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「蝶々夫人」等を演奏。

創立10周年記念演奏会では400名からなるベートーヴェン「第九」、20周年ではイヴリー・ギトリス氏、岩崎洗氏との「コンチェルトの夕べ」を開催し、30周年ではマーラー「交響曲第1番・巨人」を演奏しました。

倉敷管弦楽団団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7:00～9:30

練習場所 倉敷市文化交流会館

団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人

募集パート 全パート(管楽器は一部)

お問い合わせは 田辺幹夫/TEL.086-263-3521
菊池 東/TEL.086-522-5145
<http://kurakan.org/kurakan-blog/>